

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020090

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	23	多様な交流の促進	事業優先度	A		
単位施策	2	地域間交流の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	地域間交流推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	2 財務企画課		
事業主体	雄武町		関係課	9 産業振興課		
事業指標	交流団体数			12 教育委員会教育振興課		
事業目標	4団体(武雄市、益子町、札幌雄武会、東京雄武会)		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	ふる郷ふれあい交流会、札幌雄武会等への町民参加	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	
	事業費(千円)	9,411	1,557	1,880	1,960	1,980	2,034
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,500	300	300	300	300	
一般財源	7,911	1,257	1,580	1,660	1,680	1,734	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,344	1,399	1,939	2,189	1,878	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	1,434	279	309	321	270	255	
一般財源	7,910	1,120	1,630	1,868	1,608	1,684	
関 連 事 項	特定財源の名称 ふる郷ふれあい交流会 参加会費	【評価・実績】	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄物産まつりでの特産品販売 ・益子町産業祭での特産品販売	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄物産まつりでの特産品販売 ・益子町産業祭での特産品販売	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売	
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4団体	4団体	4団体	4団体	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	90%	103%	112%	95%	95%
		全体達成率	15%	35%	59%	79%	99%
		備考欄					

事業名	地域間交流推進事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大水 寛仁

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民、交流の相手方(会員、市民、町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既存の交流団体との交流継続	
【抱える課題やニーズは】	行政主導の交流が多い中、民間における交流拡大を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	行政と民間がそれぞれの役割を理解し、交流をさらに発展させる	① 交流団体数/雄武市・益子町・札幌雄武会・東京雄武会	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	既存地域・団体との信頼関係を強化し、地域経済の活性化、ふるさと意識の向上を図る		目標値	4 団体
			実績値	4 団体
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ふる郷ふれあい交流会の開催	産業観光まつりの開催に際し、ホテル日の出岬を会場に、佐賀県武雄市・栃木県益子町・札幌雄武会の方々と町民が一堂に会し、交流を図った		
	雄武市・益子町との交流	佐賀県武雄市物産まつりや益子町産業祭に参加、人的交流や特産品のPR販売、参加経費等の支援を行った		
	東京雄武会・札幌雄武会との交流	毎年開催される「ふるさと会」に参加し、特産品の提供等を行った		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存地域・団体との交流は、長い歴史の中で育まれてきた経緯があり、行政が関与してさらに発展させることも必要であるが、民間主導にシフトしていく視点も重要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画どおり事業展開を図っており、交流団体数、交流者数も維持され、また、特産品等を通じた交流も継続している。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会については、参加者から会費を徴しており、効率的な実施に努めているとともに、武雄市・益子町との交流についても、必要な助成支援にとどめている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会への参加については、広く町民に周知し参加の機会を提供しながら参加者からは会費を徴しており、また、ふるさと会や友好自治体への訪問・参加についても地域団体等を通じて広く参加を促していることから、概ね公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
継続的な交流を進めている中、友好自治体のイベント時における特産品販売は、現地の市民・町民に喜ばれ欠かせない取組みとして定着しているなど、事業の充実が図られている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
行政と民間がそれぞれの役割を理解しながら、交流の現状維持を図っていくこととするが、新たな交流手法の模索や、札幌・東京雄武会においては若年層の加入促進が求められるところである。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止